

スーパースマイル新聞

2023年（令和5年）春号（vol.113） くしま矯正歯科通信

〒545-0011 大阪市阿倍野区昭和町 1-21-22 徳山ビル4F

TEL 06-6628-8148 FAX 06-6627-0878 HP <https://www.kushima-ortho.com>



2023年度（令和5年度）が始まりました。

当院駐車場をご利用の患者さんとお付き添いの方へ

今日まで申告なくご自由に駐車していただいておりますが、**患者さまの利用状況の把握**ならびに**患者さま以外が駐車される迷惑駐車が見受けられる**ことから、**当院駐車場のご利用方法を変更すること**にいたしました。

当院駐車場をご利用の患者さんは、待合室に設置してあります『駐車場利用用紙』に「日付・名前・車種・色・駐車番号・入庫時間・出庫時間」を必ずご記入くださいますようお願い申し上げます。

親御さんが車内でお待ちの場合であっても、お子さんにご記入させてください。
なお、診療終了後は速やかに出庫していただきますようご協力をお願いします。

延長診療日のお知らせ

年内までの延長診療日は、4月12日（水）・28日（金）、5月10日（水）・26日（金）、6月14日（水）・23日（金）、7月12日（水）・28日（金）、8月9日（水）・25日（金）、9月13日（水）・22日（金）、10月11日（水）・27日（金）、11月8日（水）・24日（金）、12月13日（水）・22日（金）です。

延長診療日の最終受付時間は19時30分で、診療終了は20時となります。

なお、通常の診療時間は、月曜日・水曜日・金曜日の最終受付時間は18時30分

(診療終了は 19 時)、火曜日・土曜日の最終受付時間は 17 時 (診療終了は 17 時 30 分) です。

処置内容によって、最終受付時間でも可能ですのでご利用ください。

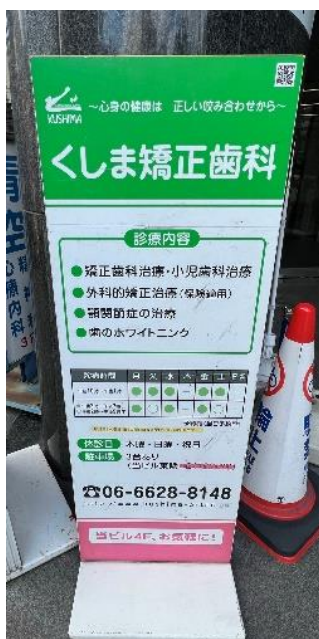
待合室でのマスク着用をお願い

2023 年 3 月 13 日からマスクの着用は、個人の判断によるものとなりましたが、当院の待合室ではマスク着用をお願いします。

置き看板が新しくなりました

ビルの入口前に設置してある置き看板を新デザインに変更しました。東京オリンピックで話題になりました『ピクトグラム』を参考にしてデザインを考えました。ピクトグラムとは、言葉を使わなくても視覚的に伝達できる簡素化された絵記号のことです。身近なピクトグラムには、トイレのマークや非常口のマークが馴染みあると思います。

なお、表示されている QR コードをスマートフォンで読み取っていただきますと、そこから初診相談と通院中の患者さんの受付ができますのでご利用ください。



マイナンバーカードについて

受付に顔認証付きカードリーダーを設置しました。マイナンバーカードは健康保険証として利用できるほか、薬剤情報など共有できます。詳しくは、院内のパンフレットやポスターをご覧ください。



臨時休診日のお知らせ

2023年5月6日（土）は臨時休診日とさせていただきます。ご理解の程、宜しくお願い致します。

世界舌側矯正歯科学会に参加してきました

2023年3月1日（水）～3日（金）に院長は、神戸国際会議場で開催されました世界舌側矯正歯科学会に3日間参加して参りました。今期よりアレキサンダー研究会会長に就任された宇津先生と講演者の下田先生とその門下生さんたちとお昼にランチしたほか、会場内で、久しぶりに大学の同級生と会うことができ、歯を効率よく動かすメカニクスや装置などの情報交換をすることができました。



咬合誘導について

名誉院長 久島文和

今までも何度か 咬合誘導について書かせていただいておりますが、矯正歯科・小児歯科を標ぼうしている当院の診療所の中で大切にしている方針ですので 再度書かせていただきます。

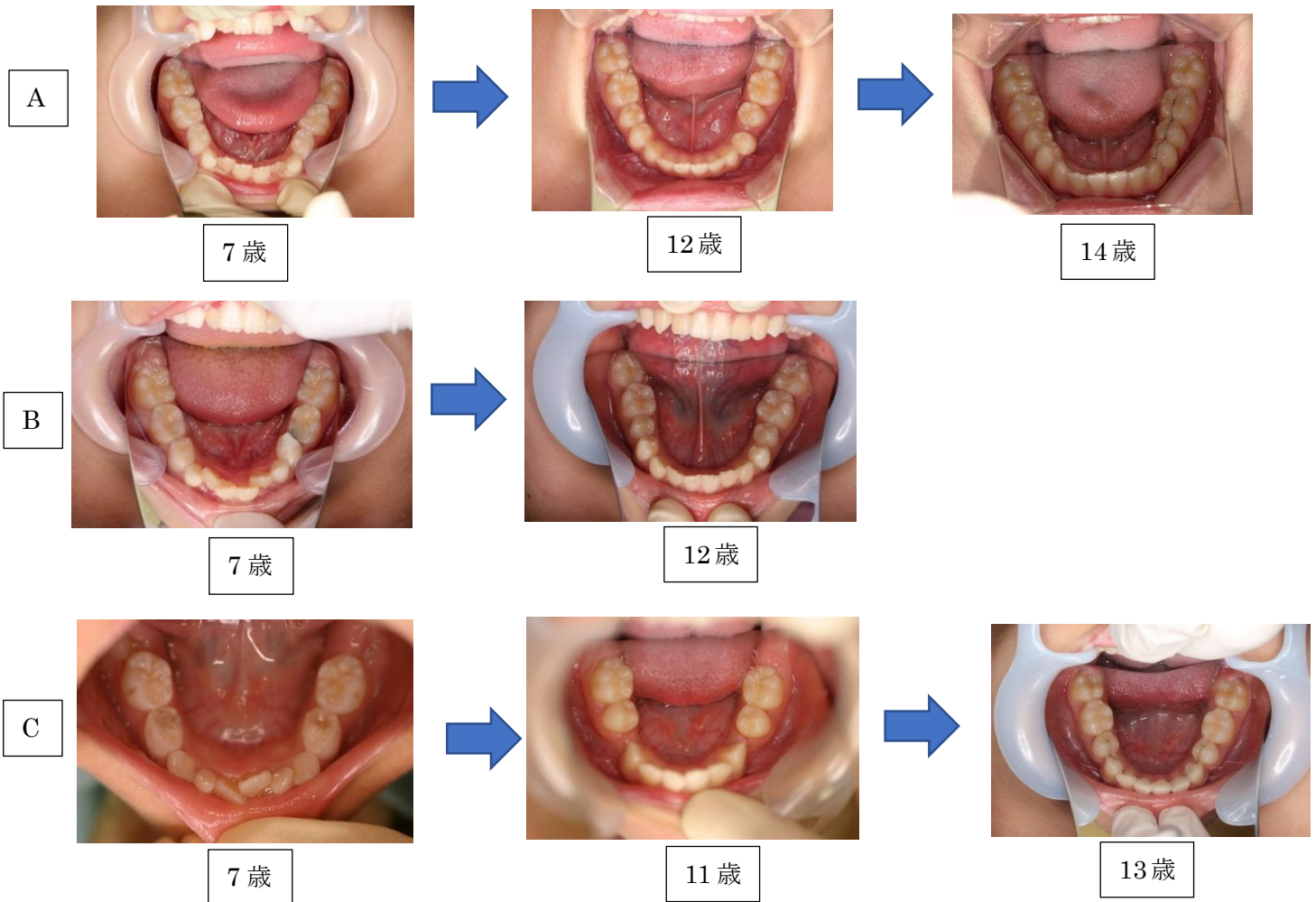
成長期にある子ども、つまり乳歯から永久歯に生え替わるような時期というのは、矯正治療を始めるのに最適な時期と言えます。お子さんの歯並びが気になったとき、当院に定期的に通ってもらい、適切な時期にお子さんの負担の少ない方法でより良い永久歯の咬合にする、それが咬合誘導の考えです。

咬合誘導とは 乳歯から永久歯にうまく交換させることで、成長期における歯並び・かみ合わせ・顎骨の成長を正常な状態に誘導する治療です。体（顎や骨格、筋肉）が成長する力を利用して、骨格のずれの改善や、歯がきちんと並ぶスペースを確保するための顎の正常な成長促進を行います。顎や歯列の発育を正常に導きますので、その後、成人矯正が必要になったときに、抜歯などを回避する可能性を高め、治療が簡単に終わる上、虫歯や歯周病のリスクを減らすことも期待できます。

具体的に例えば永久歯がうまく並ばない叢生という状態を例にあげてみます。下顎の前歯の左右の乳犬歯の間に 4 本の永久歯が生えられず 凸凹になっているとしましょう。

左右の乳犬歯を抜くと簡単に凸凹は治りますが 前歯が内側に動きかみ合わせが深くなり結果的に別の問題が生じます。この時は数年間の予想をして、抜くか、または乳犬歯の横を削るか判断します。下顎の正中線が左右どちらかにずれているときには 抜く順番を考える必要があります。A、B、C の 3 人の例を示しましょう。

いずれも初診時 7 歳の子供さんで 下顎前歯の凸凹の相談に来られました。



AとBの患者さんはともに12歳まで咬合誘導を行いました。Aの方は12歳の時親御さんと相談し 短期間 矯正治療を行い綺麗になりました。

Cは連続抜歯と呼ぶ方法で治しました。乳歯を順番に抜歯して 第1小臼歯4本を埋伏の状態に抜歯したときが11歳の時です。その後 矯正装置を2年間装着し13歳で終わった方です。

健康保険でも数年前に小児口腔機能発達不全症という項目ができました。

食べ方、話し方、体格などに問題のある場合には、保険である程度対応できるようになりました。当院でもできる限り対応を心がけています。